

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	ドーピング検査員の感染予防対策支援事業			担当部局庁	スポーツ庁		作成責任者
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	令和5年度	担当課室	参事官(国際担当)付		参事官(国際担当) 八木 和広
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第29条及び第33条第3項 ユネスコの「スポーツにおけるドーピングの防止に関する国際規約」第7条 スポーツにおけるドーピングの防止活動の推進に関する法律(平成30年法律第58号)			関係する 計画、通知等	第3期スポーツ基本計画(令和4年3月25日策定) スポーツにおけるドーピング防止活動に関する施策を総合的に 推進するための基本的な方針(平成31年3月14日施行)		
政策	11 スポーツの振興			主要経費	教育振興助成費		
施策	11-2 東京大会のレガシーを継承した持続可能な競技力向上体制の構築						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-34.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	フェアプレーに徹するアスリートを守り、スポーツ競技大会における公正性を確保するため、また、スポーツ競技大会をクリーンでフェアな大会とするために、ドーピング防止活動を質と量の両面から強化する。本事業は、国内のドーピング検査に係るドーピング検査員の新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底を図り、アスリート及びドーピング検査員の感染リスクを最小限に留め、安心・安全にクリーンな大会が開催できることを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	アスリート及びドーピング検査員の感染リスクを最小限に留めるため、ドーピング検査員に対する感染予防対策を徹底するとともに、ドーピング検査の実施場面における感染予防対策を継続して実施する。なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況に鑑み、本事業の実施は令和5年度を最終年度とする。						
事業概要 (5行程度以内)	本事業は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、国内のドーピング検査に係るドーピング検査員に必要な感染予防対策、ドーピング検査の実施場面における感染症予防対策に必要な経費を定額補助するものである。						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が実施する、ドーピング検査員の感染予防対策支援事業について、当該経費の一部を補助【補助率:99%】						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	187	93	54	-
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
	予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	187	93	54	-	
	執行額(G)			135	80		
	執行率(%) =(G)/(F)		-	72%	86%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		-	72%	86%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	スポーツ振興費			-		
	(目)	消耗品費	23				
	(目)	雑役務費	12				
	(目)	借損料	11				
	(目)	通信運搬費	5				
		その他	3	-			
	計(A)		54	-			

活動内容① (アクティビティ)		ドーピング検査時や、ドーピング検査員のための新型コロナウイルス感染症予防対策								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		ドーピング検査員へのPCR検査を適切に実施する。	ドーピング検査員へのPCR検査数	活動実績	回	-	3,652	3,762	-	-
				当初見込み	回	-	6,720	7,800	200	-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	ドーピング検査員の新型コロナウイルス感染症への感染確認をすることは、ドーピング検査を通じたアスリートへの感染リスクを減らすとともに、確実な検体採取につながることから、ドーピング検査の競技会検査及び競技会外検査における採取検体数を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		国内のアスリート及びドーピング検査員の感染リスクを最小限に留めたドーピング検査が実施できる。	ドーピング検査の競技会検査及び競技会外検査における採取検体数	成果実績	検体	-	5,624	5,736	-	
				目標値	検体	-	7,100	6,000	6,300	
				達成度	%	-	79.2	95.6	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		補助事業者からの実施報告								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		本事業は、令和5年度で終了となる事業であるため、アウトカムを複数設定せず、単一の目標の達成に注力することとしたい。								

活動内容② (アクティビティ)		ドーピング検査時や、ドーピング検査員のための新型コロナウイルス感染症予防対策								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		競技会におけるドーピング検査室の感染症対策を適切に実施する。	競技会にて適切な感染症対策が講じられたドーピング検査室(会場)数	活動実績	室	-	3,324	3,770	-	-
				当初見込み	室	-	2,500	3,500	3,500	-
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	ドーピング検査の実施会場の感染対策を適切に講じることは、ドーピング検査員やアスリートの感染リスクを減らすとともに、安全な環境での確実な検体採取につながることから、ドーピング検査の競技会検査及び競技会外検査における採取検体数をアウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		感染症予防対策を徹底し、ドーピング検査を実施することによって、安心・安全でクリーンな大会の開催に貢献する。	ドーピング検査の競技会検査及び競技会外検査における採取検体数	成果実績	検体	-	5,624	5,736	-	
				目標値	検体	-	7,100	6,000	6,300	
				達成度	%	-	79.2	95.6	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		補助事業者からの実施報告								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		本事業は、令和5年度で終了となる事業であるため、アウトカムを複数設定せず、単一の目標の達成に注力することとしたい。								

事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	-	
	URL	-	
	該当箇所	-	
事業所管部局による点検・改善			
点検結果	ドーピング検査時に適切な感染予防対策を実施したことにより、安定した国内の検体採取につながった。また、事業実施に当たっては、事業経費の費目・用途の厳正な調査を行うことにより、低コストで事業を実施できるよう努めており、国内の感染状況を勘案して適宜事業規模の縮小も行った。		目標年度における効果測定に関する評価（令和6年度実施） -
改善の 方向性	安全な環境下での安定した検体採取に向けて、引き続き、ドーピング検査での感染予防対策に取り組む。事業の実施に当たっては、感染症予防対策の内容、経費の妥当性について効果的・効率的に執行されるよう精査するとともに、額の確定時においても会計処理の検査等を厳格に行うことにより、適正に事業が執行されるよう努める。また、国内の感染状況を考慮し、引き続き事業規模の縮小を行う。		
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見に至る過程及び所見			
事業全体の抜本的な改善	この事業は、執行率が低くなっていることから、今年度が事業最終年度とのことであるが、詳細な要因を分析したうえで、工程管理等を行いながら、予算執行の適切な改善に努めるべきである。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
執行等改善	令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が落ち着き始めた時期であるが、開催が予定されていた競技会が中止となる等、ドーピング検査機会そのものが減少した経緯がある。引き続き、国内の感染状況を踏まえた対応を行い、適切な予算執行に努める。		
過去に受けた指摘事項 と対応状況	公開プロセス・秋の年次公開検証（秋のレビュー）における取りまとめ		
	-		
	上記への対応状況		
	-		
	その他の指摘事項		
	-		
	上記への対応状況		
-			
備考			
-			

関連する過去のレビューシートの事業番号																												
平成23年度																												
平成24年度																												
平成25年度																												
平成26年度																												
平成27年度																												
平成28年度																												
平成29年度																												
平成30年度																												
令和元年度																												
令和2年度	文部科学省		新03		0027																							
令和3年度	2021	文科	新21	0015																								
令和4年度	2022	文科	21	0363																								

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)

スポーツ庁
80百万円

↓

【補助金等交付】

A. (公財)日本アンチ・ドーピング機構
80百万円

新型コロナウイルス感染症予防対策の徹底を
図るため、ドーピング検査員に対する感染予防
対策やドーピング検査の実施場面における感
染予防対策を実施。

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	雑役務費	感染対策に必要な事務補助員、ドーピング検査のPCR検査分析費用等	57.7			
	消耗品費	フェイスシールド、マスク、手袋、消毒液等	13.5			
	通信運搬費	ドーピング検査員のPCR検査検体搬送	8.2			
	その他	旅費、印刷製本費	0.1			
	計		79.5	計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.								
	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構	8011505001508	ドーピング検査員の新型コロナウィルス感染症予防対策支援事業	80	補助金等交付	-	-	-